

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

愛媛大学における尿路上皮癌薬物療法の治療成績及び予後因子に関する後ろ向き観察研究

### 【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院泌尿器科

### 【研究責任者】 雑賀隆史（泌尿器科教授）

### 【研究の目的】

本研究では、当院で過去に尿路上皮癌に対して薬物療法を行った患者さんを対象に、診療録（カルテ）の情報を収集します。臨床経過を理解することで、薬剤の効果や予後因子を探索する研究を行います。この研究は尿路上皮癌における有効な治療薬の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん）2000年4月1日から2025年3月31日の間に、愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち尿路上皮癌（膀胱癌・腎盂癌・尿管癌・尿道癌）と診断され、化学療法（GC（ゲムシタビン＋シスプラチン）療法、MVAC（メソトレキセート＋ビンブラステチン＋アドリアマイシン＋シスプラチン）療法、GCarbo（ゲムシタビン＋カルボプラチン）療法、ペムブロリズマブ、アベルマブ等）を受けた患者さん

（利用するカルテ情報）診断名、性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像データ、初診時血清・病理腫瘍マーカー、尿細胞診、臨床病期、診断部位、治療経過、投薬状況、検査結果（血液検査、画像検査など）、予後情報等

(利用する試料) 該当なし

**【個人情報の取り扱い】**

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科 渡辺隆太

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科 渡辺隆太

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5356